

病院の概要

- **病床数** 282床
- **医師数（研修医を除く）** 40名（うち指導医数 18名）
- **研修医数** 1年目 5名 2年目 4名
- **研修医の主な出身大学** 近畿大学・岐阜大学・和歌山県立医科大学・中国医科大学・東海大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・鳥取大学・日本医科大学
- **診療科** 内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科 リウマチ科 小児科
外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 肛門外科 婦人科
眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 精神科 リハビリテーション科 麻酔科
消化器外科 救急科 病理診断科
- **1日平均外来患者数** 650名 ● **1日平均入院患者数** 220名
- **主な認定施設** 救急指定・第二次救急医療病院群輪番制病院、日本内科学会認定教育施設認定病院、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定内分泌代謝科認定教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設

**研修プログラムの特色**

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

三郷市は近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、当院は老人はもちろん青壮年・婦人・小児をめぐる多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできる事が特徴です。

**プログラム 例** 地域医療総合 地域中核型プログラム（募集定員4人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	オリエンテーション+総合内科				外科		整形外科		救急科		総合内科	
2年目▶	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	内科系選択					選択科		

内科11か月（1年次必修：導入期研修4か月+2か月、2年次必修：5か月）、救急3か月（2か月+当直1か月※当直1か月は他科研修期間も含め週に1回程度実施）、外科2か月、整形外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月、地域医療1か月、自由選択3か月（前述の各科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、病理科、ICU、PCU、診療所など）

研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次：32.4万円/月 2年次：37万円/月 ※研修手当を含む
※賞与年2回
- 諸手当▶ 当直手当、家族手当
- 保 険▶ 東京医業健保組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険完備、別に法人独自の共済制度あり
- 勤務時間▶ 8時30分～17時30分
- 当 直▶ あり（5回まで/月）
- 休 暇▶ 毎月4週6休、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿 舎▶ 希望者は病院徒歩2分の寮に入寮可
- その他▶ 上記以外も法人規定による各種手当（学会参加手当など）あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 松戸市立病院
- ・ 東京女子医科大学病院東医療センター
- ・ みさと協立病院
- ・ グループ内医療機関多数

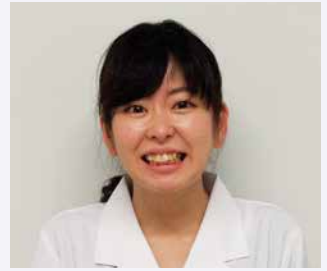
当院のキーワード

私が初期研修先を選んだ理由

はじめまして。私はもともと小児科希望でしたが、自分が小児科医の道を進む前に、研修において自分は何を学びたいかを考えたときに、地域に密着したCommon Diseaseを診断できるようになりたい・学びたいと思いました。

そういったことを考えている時にみさと健和病院を見学させて頂いて、地域に密着した病院にも関わらず、先生方が総合内科として様々な疾患を診てらっしゃることに驚きました。そして上の先生からの指導が行き渡ったチームで患者さんを診ていることや、教育回診や熱心に指導して下さるカンファをみさせていただき、こんなに指導して下さる病院は他にないと思い、この病院で是非研修医として働きたいと思いました。

私は四国出身で、大学は関西だったので、初めて関東に出てきて慣れない環境で戸惑うことも多くありますが、2年後にたくさん学べた研修医生活だったと言えるように、日々頑張っています。



研修責任者から

私たちは初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修の指定を受けましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました(私もそのひとりです)。当時大学病院などの大病院で初期



研修プログラム責任者
岡村 博

研修をおこなうことが主流である中、282床の病床数は最少であり、外来の研修や往診の研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたものと思います。2004年の新しい研修制度に移行した後も、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅していくプログラムを作ってきました。

どのような臨床医がよい医師なのかは、どのような臨床医が地域で必要とされているのかと表裏一体です。今回研修制度が再度変更されましたが、当病院の研修に対するspiritは普遍のものです。

当院の「地域中核型プログラム」に興味があればぜひ見に来てください。そして私たちと一緒に臨床研修をしませんか？

先輩研修医から

当院では総合内科に比較的長く籍を置き、みっちり基礎を叩き込まれます。実務を通して学ぶon the job trainingの良いところのみを残しながら、さらに総合内科医として長年経験を積んできた医師によるフィードバックや独自の教育回診によって深く実践的に学びます(教育回診はすごいですよ。是非一度見学を！私も見学で感銘を受け、当院での研修を決意しました)。



後期研修医2年目
岡本 健

本来ならば全ての医師が持つべきであるgenerality(そしてしっかりと習得出来ている医師は多くない)を集中的に学ぶことができる環境が当院には備わっています。もちろん簡単な疾患ばかり診ているわけではなく、稀な疾患もあれば高度な医療を要する疾患もあり、時にはより専門な医療が必要なため他科、他院に移ることを余儀なくされる場合もあります。こういう経験を通して疾患頻度を肌で感じることや、その中に潜む稀な疾患をどう診断するか、また専門的な医療を要すると判断し迅速に紹介することの重要性などを単なる知識ではなく“感覚”として習得することができるのです。これは将来内科・外科問わずどの科に進むにしても活きるものだと思いますが、特に総合内科に興味がある方にとっては何にも代え難い財産になると断言出来ます。

女性医師支援コーナー

- 院内保育あり、当直有無も応相談(初期研修医は除く)、勤務単位も応相談です。あなたに合った働きやすい環境をご相談ください。
- 院内保育…ここに保育園では、0～3歳児までのお子さんをお預かりします。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。
- 病児保育…0～9歳までのお子さんをお預かりします。(感染症又は感染症疑いは除く)。お子さんの体調が悪い時なども休まず働くことが可能です。

連絡先

みさと健和病院

医局事務室 医学生担当

〒341-8555 三郷市鷹野4-494-1

TEL 048-955-7171(代表) FAX 048-948-0007

E-mail gakusei@kenwa.or.jp

URL <http://gakusei.kenwa.or.jp/>

アクセス JR常磐線松戸駅からバス10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

卒後進路を考えるにあたり、全ては病院見学・実習から始まると思います。当院は平日随時・希望内容応相談・交通&宿舎補助ありで受け入れています。まずは左記までお問い合わせください。